

会 議 録				
平成24年度第3回 社会教育委員の会議	日 時	平成24年7月18日(水) 午前9時～午後1時	場 所	本庁舎～町田市生涯学 習センター
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	伊藤、小林、佐野、樹、中村、本多、本川、松田 各委員 欠席 倉持、田尻委員		
	その他	浦野委員（図書館協議会）、山田委員（公民館運営審議会） 西田生涯学習部長、井上生涯学習課長、大関公民館長		
	事務局	林生涯学習係主事		
傍聴の可否	可 ・ 一部不可 ・ ◎不可	傍聴者数	0人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由		視察研修であるため。		
次 第				
1. 協議事項 (1) 関東甲信越静社会教育研究大会について (2) その他				
1. 協議事項 (1) 関東甲信越静社会教育研究大会について (本川議長) 本日の社会教育委員の会議は、視察研修であるが、視察に先立ち協議をお願いする。関東甲信越静社会教育研究大会が10月に行われるが次回の会議では出席委員の選定が間に合わないため、この場で出席委員を決定したい。どなたか希望者がいるか。協議してもらいたい。  (日程等含め協議する) では、佐野委員と本川が行くということによろしいか。できれば3名で参加したかったが致し方ない。では事務局から申し込みをお願いする。  (2) その他 (本川議長) 先日、私と事務局で都市社連協の理事会に参加した。昨年定期総会以来話し合われている都市社連の運営改善に向けた改善案が示された。改善案は大きく5項目あり、1つめが定期総会・交流大会の実施内容の整理である。これまで4月に行われてきた定期総会、社会教育委員研修を定期総会と表彰の場とし、代わりに12月に交流大会での表彰を社会教育委員研修と交換するものである。これは概ね全体の下承が得られていた。2点目は表彰制度の見直しである7年以上の委員への表彰状を廃止、5年以上の委員の感謝状は継続、前会長への感謝状は廃止といった内容である。これらにつ				

いても理事会では承認される方向で話し合いが行われた。委員が関わる優良な活動を行う個人や団体をブロックごとに推薦・表彰するという提案もあったが、これらは基準が難しく判断がなされていない。3点目は理事会のあり方についてである。理事会をブロックごとに行う形で整理したいというものだが、これらについては都市社連協の解体につながるなどの意見が相次ぎ、基本的には見送られる方向である。4点目は全国社会教育委員連合の加入の継続についてである。都市社連協の加入が社教連の定款で定める正会員の規格外であることや、分担金等の負担があることから、加入継続について、協議を継続するか検討していたものだが、役員会としては加入を継続し、審議を継続しないという提案があった。これらについても概ねその方向である。最後に一番論議を呼んだのが会則の改正についてである。府中市、八王子市、多摩市など近年社会教育委員という名称を捨て、生涯学習審議会等を設置している自治体が出てきている。府中市はきちんと社会教育委員としての役割を持った委員に対して社会教育委員としての兼職の辞令を出している。八王子市については社会教育委員という名称については存在しないが、審議会内に社会教育部会をもち、それらの委員を充てている。多摩市については特殊な事例であり、これまで同様に対応していいか委員中でも意見が分かれている。理事会に出席していない委員には理解が難しい部分もあるかもしれないが意見があればお願いしたい。特に無いか。以上である。

以上